

水溶液の性質 (3)

【1】次の文章の () に当てはまる言葉を書くか、○でかこみなさい。

- (1) 20℃の水 100g に食塩をとかしていくと、食塩は約 36g までとけるが、それ以上はとけなくなる。このように水にある物質がそれ以上とけることができなくなった状態を、(① ^{ほうわ}飽和) しているといい、その状態の水溶液を (② ^{ほうわすいようえき}飽和水溶液) という。
- (2) 100g の水に、ある物質をとけるだけとこかして、② を作ったとき、とけた物質の質量をその物質の (③ ^{ようかいど}溶解度) という。
- (3) 水の温度と物質の③ の関係を表したグラフを (④ ^{ようかいどきよくせん}溶解度曲線) という。
- (4) 硝酸カリウムの③ は水溶液の温度が下がると急激に (小さく ・ 大きく) なるが、食塩の③ は水溶液の温度が変わってもほとんど変化しない。
- (5) 硝酸カリウムの水溶液を冷却すると、とけきれなくなった硝酸カリウムが規則正しい形の (液体 ・ 固体) として出てくる。これを (⑤ ^{けっしょう}結晶) という。
- (7) いったん水に溶かした物質を再び⑤として取り出すことを (⑥ ^{けっしょう}再結晶) という。
- (8) 水や酸素などのように、1種類の物質でできている物を (⑦ ^{じゅんすい}純粋) な物質という。
- (9) 砂糖水や空気などのように、いくつかの物質が混ざってできているものを (⑧ ^{こんごうぶつ}混合物) という。

【2】以下の問題に答えなさい。

(1) ろ過のやり方として、正しい方法を下の a~d の図から選び、記号を○でかこみなさい。



(2) ろ紙をろうとに密着させるために何をするか、ア~ウの中から正しいものを選びなさい。

- (ア) 水でぬらす イ) しばらく置いておく ウ) ガラス棒でおす

【3】次の□の中のものを純粋な物質と混合物に分けなさい。

食塩 (塩化ナトリウム)、水、^{ちっそ}窒素、食塩水、ブドウ糖、
 空気、炭酸水、酸素、海水、^{しょうさん}硝酸カリウム、二酸化炭素

- 純粋な物質 (食塩 (塩化ナトリウム)、水、窒素、ブドウ糖、酸素、硝酸カリウム、二酸化炭素)
- 混合物 (食塩水、空気、炭酸水、海水)